



● オープンキャンパス開催

充実した環境・設備、体験授業を通して当校の魅力を感じてみませんか?

参加者の皆様から、「実際に来て、見て、体験して、学校のことがよくわかった!」とのお声を多くいただいています。在校生との交流もあり、当校の雰囲気を感じていただくこともできます。皆さまのご参加をお待ちしております。



(電子情報技術科)

オープンキャンパス日程

金沢駅・穴水駅から無料送迎あります!

第6回 9月24日(土)

第7回 10月22日(土)

第8回 11月26日(土)

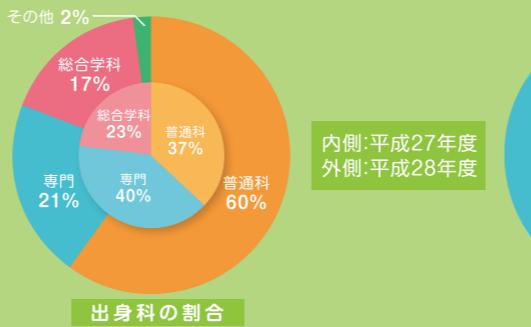
学食にて昼食無料試食付き!



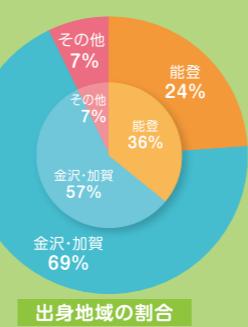
(生産技術科)

● 特集1 新1年生の出身科及び地域別状況

内容:出身科(普通科、専門、総合学科、その他)より分類
:出身地域(能登、金沢、加賀、富山、福井)より分類



内側:平成27年度
外側:平成28年度



特徴:全体の60%が普通科出身の学生であり、昨年度と比べ約30%増加している。

● 特集2 昨年度の卒業生の就職先業界及び就職先地域

内容:就職先業界(製造業、その他)

その他 5%

:就職先地域(県内、県外)

その他 5%

特徴:ほとんどの卒業生が製造業に就職している。また、80%以上が地元で就職している。

- ・渋谷工業株
- ・ダイキン工業株
- ・高松機械工業株
- ・株穴水村田製作所
- ・製造業 金沢
- ・製造業 大阪
- ・製造業 白山
- ・製造業 穴水



特徴:ほとんどの卒業生が製造業に就職している。また、80%以上が地元で就職している。

● イベント情報

● 10月16日(日)

いしかわの技能まつり
会場:石川県産業展示館

今年もブース出展いたします。卒業制作の成果物展示や、ものづくり教室を開催します。

当校への質問や進学相談等もうけたまわっておりますので、ご来場お待ちしております。



● 11月3日(木・祝)

鳳匠祭(ほうしょうさい) 会場:当校
当校の学園祭です。

豪華景品が当たるbingo大会や模擬店、ものづくり教室など学生自治会が中心に行います。ぜひお越しください。



● 入校試験日

● 10月14日(金)

特別推薦
公募(一般)推薦A日程

自己推薦A日程

出願期間:10月1日(土)~同月7日(金)
合格発表:10月21日(金)

● 11月11日(金)

公募(一般)推薦B日程

自己推薦B日程

出願期間:10月21日(金)~11月3日(木・祝)
合格発表:11月18日(金)

● 応用課程に進学

5名の学生が北陸職業能力開発大学校・応用課程への進学が決まりました。

生産電子情報システム技術科(3名)

生産電気システム技術科(1名)

生産機械システム技術科(1名)

次のステップに向けて、より一層技術力向上に励んでいきます。

電子情報技術科

WRO(World Robot Olympiad)に出場!

8月26日(金)~27日(土)に、栃木県で開催されたWRO Japan 2016 アドバンスド・ロボティクス・チャレンジ部門に2年生3名が出場しました。WROとは、各大学・専門学校等で製作した自立型ロボットを使って、ボーリングを行い、倒した本数で勝敗を決める競技です。出発前日まで試行錯誤し、競技会場でも微調整を行って大会に臨みました。14校中8位となり、初出場としてはまずまずの結果となりました。学生達は、8位という結果に満足しておらず、今後も改良を重ねていきたいと話していました。



「自立型ロボットの製作風景」

技能検定(電子機器組立て2級・3級)を受検

7月25日(月)に1年生が電子機器組立て3級、7月9日(土)、10日(日)に電子機器組立て2級及び技能五輪予選石川県大会を受検しました。初めてはんだ付けする学生もいる中、3級合格に向けてはんだ付けや組立ての練習を行い、2級受検者は、放課後を使って、日々精進してきました。技能五輪予選石川県大会に出場した2名は、優秀な成績を修め、8月に東京都で開催された2次予選に出場することができました。

「2次予選に出場の学生」

手前:納谷宏海君(石川県立加賀聖城高校出身) 奥:小林佑多君(福井県立奥越明成高校出身)

生産技術科

第11回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種への挑戦

栃木県立県央産業技術専門学校で、第11回若年者ものづくり競技大会が8月5日から8月8日に開催されました。当校から石川県代表として、1年生の小杉晴海君(石川県立工業高校出身)が「旋盤」職種で出場しました。

競技は、鉄の丸棒を画面で指示された複雑な形状に旋盤で時間内に加工し、その出来栄えを競います。

競技課題は6月末に公表されました。加工手順や作業時間の検討、必要な工具や測定器具の準備、そして練習を約1か月という短期間で行わなければならず、選手、指導員ともに大変な1か月となりました。

加工練習の難しさはもとより、競技で使用する工具や工具整理台の準備では、いかに使いやすく、大会規定にあったものを選び、作るかに試行錯誤しました。

このような制約の中、練習と準備を着々と進め、大会に臨みました。1日目は使用する機械の抽選が行われ、その後、工具の準備、練習を行いました。

2日目は9時から競技が開始され、無事最後まで加工し、完成物を提出することができました。

小杉君は、「出場して本当にいい経験になりました。この1年でさらに技術に磨きをかけて来年も出場し、良い結果を残したいです。」と話していました。小杉君の実力は短期間で格段に向上し、今回の経験はこれから的人生に大きく資するものと思います。

